

のぼといあんのおともだち

ここは「うちゅうフルーツ」って星。

実は、ひっそりと地球のとなりにあるんです。

*うちゅうフルーツってどんな形をしてるのかな？どんな色をしてるのかな？



うちゅうフルーツに住んでいるフルくんは、いつも望遠鏡をのぞいては、「あー、あの青くてキレイな地球に行ってみたいなあ」とつぶやいていました。



フルくんにはみーくんという大親友がいます。

フルくんとみーくんはいつも坂道をコロコロと転がって遊んでいました。



ある日、いつものように坂道でコロコロ遊んでいると、大きな大きな穴を見つけます。

ふたりは、その穴にむかって、「おーい」と大きな声でよんでみました。

すると、、、穴のむこうから「なーに？」って声が聞こえてきました。

そこで、ふたりは、もっと大きな声で「おーーーい」とよんでみました。

すると、また、さらに大きな声で「なーーにー？」と大きな声が返ってきました。

そこで、ふたりは勇気を出して、その穴に飛び込んでみました。

すると・・・・・・・・

さて、ここは、のぼといあんのいる地球です。



今日のはぼといあんのクラスにうちゅうフルーツの星から転校生がやってきました。

名前はいさちゃん。

うさちゃんにはとっても仲良しのキウくんというお友達がいます。

ふたりはいつもうさちゃんのお家で折り紙を折って遊ぶのが大好きでした。

だから、うさちゃんは転校するのがとてもかなしかったんです。

悲しいお顔をしたらうさちゃんのまわりにみんなが集まってきました。



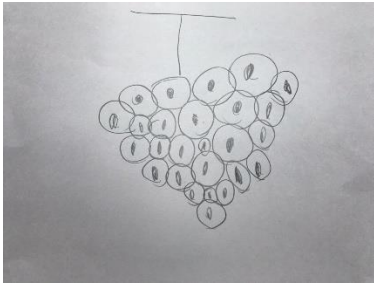
やさしいねねちゃんが好物のブドウを分けに来てくれました。



「ねえ、うさちゃん、ブドウってすごく美味しいんだよ。おいしいものを食べると元気になるよね」

そういって、ねねちゃんがかごいっぱいブドウを机の上におきました。

そのブドウの中に、目がいっぱいついたブドウがでてきました！



「わー！僕を食べないで！！僕は、宇宙フルーツから来たプーグレっていうんだよ」
「わー、びっくりした！！えっ？宇宙フルーツから来たの？ わたしも、宇宙船に乗って、一週間かけて昨日引っ越してきたんだよ」とうさちゃんが言いました。
「僕は、宇宙フルーツイチながーい坂道の横にある穴から落っこちたら、地球の公園につながってたんだ」
「えっ？！ほんとに？！ その穴をみてみたい！」
「じゃあ、これからみんなで公園にいこう」



とクラスのリーダーのらーたんが言いました。
らーたんは、とても優しくて強いので、のぼといあんの学校の人気者です。



らーたんにはライオンちゃんというとってもかわいい妹がいます。



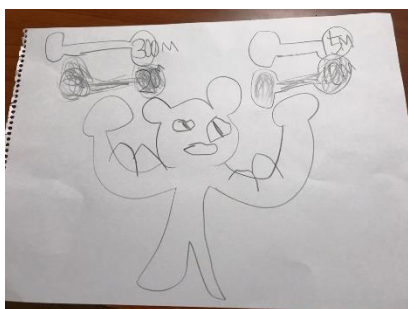
ライオンちゃんはらーたんが大好きで、いつもらーたんの後ろにちょこんとついてきます。

ライオンちゃんは鬼ごっこが大好きだから、公園に行くのは大賛成です。

らーたんのおかげでみんなは仲良しです。



公園では、いあんのお兄さんのりあんがカラダを鍛えていました。



りあんは、わるいひとたちからこどもたちを守るために、いつもカラダを鍛えています。



おぼけの島から来たやくくとへんなんも大好きなすべり台の下で遊んでいます。

やくくんはいつもおやつを入れた荷物を抱えています。





カメのりょーくんは、うーたんをみつけてさっそく公園中をかけっこをして遊び始めました。

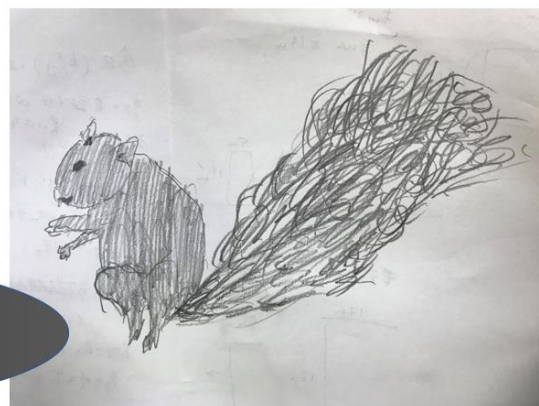


その公園の端っこの方で黒色のリスのリックが大きな穴を眺めていました。

リックの家族はいろいろな色をしています。

リックは、自分がどうして黒色に生まれてきたんだろう、、、とちょっと悲しい気持ちでいます。

運動の好きなリックは、毎日、公園で運動をするのを日課にしているのをみんなは知っているから、今日はぼーっと穴を眺めているリックのことが気になります。



らーたんが聞きました。

「リック、なにか心配なことがあるの？」

すると、リックはこういいました。

「あのさ、この穴、二日前は、手のひらくらいだったんだ。

でも、昨日は、その倍くらいの大きさになっていて、

そして、今日は僕も入れるくらいの穴の大きさになっていて、、穴がどんどん大きくなっているのが気になって覗いているんだ」

すると、穴の向こうから声がきこえてきました

「おーーい」